

不動寺小学校	学びの基盤づくり推進校
--------	-------------

### 1 研究の重点と具体的な取組

#### (1) 重点1 子どもが自分で考え、自分で表現する場の工夫

自分で考える場では、自分の考えの根拠や思考の過程を明確にして表現することができるよう、書くことを中心に取り組む。

#### (2) 重点2 友達と考えを交流し、学びを深める・広げる場の工夫

学びを深める・広げる場では、伝え合い、話し合いながら自分の考えをより深めたり、広げたりすることができるよう、板書や深めの発問、教材・教具、学習形態を工夫する。

#### (3) 重点3 自分の考えの深まりや広がりを自分の言葉でまとめ、振り返る場の工夫

学習をまとめ、振り返る場では、学びを通じた考えの深まりや広がり、変容を自分の言葉で表現することで、「わかった」「できた」「変わった」を実感させる。

### 2 取組の検証

児童アンケート項目	肯定的割合
「学習課題について、わけや考え方を書いている」	77.4%
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている」	72.6%
「自分の言葉でまとめやふり返りを書いている」	86.8%

### 3 成果と課題

自分で考える場では、根拠や思考の過程を表現できるよう、視覚化された具体的な教材・教具を準備することに重点的に取り組んだ。板書用の「わけ」カードや「説明」カードを活用し、図や数直線、途中式、言葉や文を用いて自分の考えを書くことをさらに意識できるようにした。しかしながら、自分の考えを十分に書くことができないまま、伝え合う場へと移行する児童が見られた。全員が自分の考えをしっかりとるような働きかけ、個別指導を行っていく必要がある。

学びを深める・広げる場では、全文シートを準備したり、中学年以上では1人1枚ずつホワイトボードを用意したりして取り組んだ。今後は、机間指導の際に、児童の思考を把握し、意図的に指名することで、思考が深まるようにしていく。

学習をまとめ、振り返る場では、教師主導でまとめたものを写させたり、振り返りを書く機会が少なかったりするなどの反省から、自分の言葉でまとめや振り返りを書く場を保障したり、中学年以上は確認したキーワードを使ってまとめるように指導したりした。その結果、児童アンケート「自分の言葉でまとめやふり返りを書いている」では肯定的割合が約9割であった。引き続き、自分の言葉でまとめや振り返りを書く時間を確保できるよう、タイムマネジメントを行うとともに、振り返りの内容が、思考の深まりを意識できるような内容になるように取り組んでいく。